

ささげる

ミサのささげもの

今日の聖書では、両親がイエスさまを主にささげ
たことが伝えられています。これは当時のユダヤ人と
同じように、両親が律法の規定に従って行なったこ
とです。

しかし、私たちが繰り返し行なっている感謝の
祭儀であるミサでは、イエスさまの生涯が主へのさ
さげものであったと理解し、私たちはパンとぶどう
酒のしるしを通して、イエスさまの十字架の死と復活

にあずかっています。又、ミサでは、私たちがこの
感謝の祭儀に参加し、パンとぶどう酒の目に見えるし
るしを通して、自分を神さまにささげるとを意味し
ています。

旧約聖書の時代では、罪のつぐのいとして、動物が
いけにえとしてささげられていました。イエスさまの
死は、このようないけにえに代るものではありません。
イエスさまは、弟子たちにも自分の十字架を担うよう
に求められました。

毎日の生活をささげる

ミサの奉納において自分をささげるといふことは、

毎日の生活をささげるといふことになります。言葉

かえれば、日々自分の十字架を担うといふことです。

イエスさまは、人々を十字架の死と復活へと招いて

おられるのですから、私たちも自分の十字架を担う

ことが必要なのです。

毎日の生活の中で、福音に基づいて生きるといふこ

とは、簡単なことではありません。しかし、私

がミサに参加して、繰り返し確認しているように、私

たちにはそれを実行する勇気と力が与えられている

のです。

毎日の生活で、どのようなことをささげられるか、

いつくことを次の空白に書いて下さい。

